

その家族の生活を支えることができ、地域の活性化や社会貢献にもつながることから、創業することの意義は非常に大きいものがあり、創業支援に積極的に注力すべきと考えています。

いずれにしても、経済だけでなく地域の伝統・文化創造の担い手でもある私たち中小企業が元気になることで、舞鶴全体を活性化したいと考えています。

2. 夢と意欲ある企業を創る

日本経済が人口減少や少子高齢化などの制約を乗り越えて、成長力を取り戻すためにはイノベーションの加速が必要です。単なる技術革新にとどまらず、新技術や新機軸によってビジネスモデルの革新を連動させることが、新しい産業を生み出し周辺産業の姿をも変えていくこととなります。

経済成長をけん引する主役は政府ではありません。民間企業や個人の創意工夫や進取の気概こそが成功のカギを握っています。企業の「稼ぐ力」を取り戻すことや新たな「産業の担い手」を生み出すことが大切です。

このことから、熱い思いを持って、絶え間ないイノベーションへの挑戦や人材育成、技術承継などに取り組む会員企業に対して、これを守り育てる立場から、国・府・市などの行政機関や関係団体と連携を密にしながら会員企業の「稼ぐ力」を強化するために的確な支援に努めます。また、当所ビジネスサポートセンター事業として、販売促進や顧客獲得、ICTによる会計管理など各々に役立つ各種セミナーの開催を始め、消費税転嫁対策事業として個別相談会などの様々な取り組みを行います。

円滑な企業経営に欠かせない“資金調達”については、国・府・市の融資制度の紹介・斡旋を的確に行うほか、各種補助制度の紹介・斡旋に努めます。また、小規模事業者を対象に無担保・無保証人・低金利の小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の普及に努めます。

会員企業に対しては、引き続き、経営支援員による窓口相談・巡回指導に積極的に取り組み、会員のニーズに合ったきめ細かな支援サービスをスピーディーに提供してまいります。

3. 会員みんなで、組織を創る！

商工会議所は、地域唯一の総合経済団体として、「会員企業の発展」や「地方の再生」、「国の成長」の3つをその使命としています。この使命を果たすためには、社会潮流の変化と多様化する会員企業のニーズを常に的確に把握していかなければなりません。

地域を代表する総合経済団体として機能するためには、地域内の商工業者の高い支持基盤を持つことが不可欠であり、それに見合った組織・財政・運営基盤を確立していくことが必要です。具体的には、①役員・議員の参画促進、②会員とのつながり強化、③ビジョンの共有、④広報活動の強化、⑤市民とのつながり強化、⑥事務局機能の強化、⑦法令順守・危機対応、⑧自主財源の確保、・・・などに努めなくてはなりません。

商工会議所活動の中核を担う、役員・議員には、組織をリードし、商工会議所の組織・財政ならびに事業の運営に責任を持ち、会員の増強や退会防止に加え、会員をサポートする新しい事業展開などに主体的に参画していただかなければなりません。また、会員が必ず所属する部会活動については、商工会議所活動の原点であり実働部隊である「部会」がパワフルかつスピード感を持ったものとなるよう努めていかなければなりません。時には、単独の部会でなく複数の部会が協働で取り組むことで、その時々ビジネスチャンスをしたたかに結果に結びつける知略を持ちたいものです。

このため、役員・議員・部会・委員会・青年部・女性会などの様々な活動をサポートできるように、職員の資質向上やチーム力の強化を含む事務局機能のさらなる強化・充実に努めます。

行 動 指 針

1. 行動する会議所、魅力ある会議所づくりを進める。
2. 府、市、他の経済団体との連携を強化する。
3. 部会、委員会活動を強化する。
4. 会員ニーズの把握と対応。